

〈特集補遺「否定, 形容詞と連体修飾複文」〉

ベトナム語における否定, 形容詞と連体修飾複文

Negation, Adjectives and Compound Sentences of Adnominal Modification in Vietnamese

ファム・ティ・タイン・タオ

Phạm Thị Thanh Thảo

東京外国語大学大学院総合国際学研究科
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿の目的は, 特集「否定, 形容詞と連体修飾複文」(『語学研究所論集』第23号, 東京外国語大学)における33個のアンケート項目に対するベトナム語のデータを与えることである。

Abstract: This report aims to provide the Vietnamese data which answers the 33 survey questions for the special volume of the *Journal of the Institute of Language Research* 23, which focuses on the cross-linguistic study of 'negation, adjectives, and compound sentences of adnominal modification'.

キーワード: ベトナム語, 否定, 形容詞, 連体修飾, 複文

Keywords: Vietnamese, negation, adjective, adnominal modification, compound sentence

1. はじめに

孤立語であるベトナム語においては, *không*「～ない」, *chẳng*「まったく～ない」, *chưa*「まだ～ない」, *đừng*「～してはいけない」, *chớ*「～してはいけない(教唆の意味も含む)」などの否定を表す否定専用語が数多く存在している。そのため, 否定は否定語という機能語によって表現されている。また, 否定文はそれらの否定語を動詞あるいは形容詞の前に置くものであると定義されている(Trần Trọng Kim 1952)。ただし, 単語単体のみならず, 否定の度合いによって, 他の語と結合し, 複合語の形で使われる場合も多い。それらは, 複合否定語と呼ばれている(Nguyễn Đức Dân 1987, Nguyễn Anh Quế 1988)。例えば, 否定の意をより強調するには *không hề*「完全に～ない」, *chẳng hề*「まったく～ない」, *chưa hề*「～したことがない」のように「決してそれが起こらない, または, それを起こらせない」という否定の意を強調する小辞 *hề* を否定語に後置することや, 否認の意を表すために, *không phải*「～ではない」, *chẳng phải*「まったく～ではない」, *chưa phải*「まだ～ではない」といった否認複合否定語が使われることなどが挙げられている。また, *gi*「なに, どの, どんな」, *đâu*「どこ」, *nào*「どの, どの」のような疑問詞由来文末詞と共起し, *không/chẳng...đâu*「まったく～ない(よ)」, *không/chẳng...chút nào*「少しも～ない」, *không phải đâu*「違う(よ)」といった否定表現も頻繁に使われる。



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

また、SVO型であるベトナム語においては、連体修飾複文では、VPがNの後に出現する。形容詞また名詞による修飾はNと直接結び付く。一方、動詞による修飾はVPとNを結ぶ関係詞 mà が伴う。しかし、関係詞 mà を必要としない文もあり、関係詞 mà の出現は義務的ではない。VPとNの結合を Nguyen Thi Hong Hanh (2016) の例文を通して明示する。

i. Trà đặc
お茶 濃い
「濃いお茶」

iii. Cuốn sách mà Taro đã đọc
CLF¹ 本 REL 太郎 ANT 読む
「太郎が読んだ本」

ii. Sách tiếng Nhật
本 日本語
「日本語の本」

本稿では、ベトナム語における否定、形容詞と連体修飾複文について、アンケート項目に従い、ベトナム語のデータを検討していきたい。

本稿で示すデータは、ベトナム国内の地域方言の差を超えて使われる、ベトナム語の標準方言（北部）のものである。例文は筆者及び北部出身の1名が特集アンケートの日本語文に基づいて作成した²。調査方法としては、例文の日本語を可能な限り自然なベトナム語に訳すというものである。ベトナム語の例文を追加する場合、グロスの下にさらに「」を加え日本語訳を示す。ベトナム語文中の（ ）は、（ ）内の語彙の有無が文の意味に影響しないことを示す。また、日本語に対応するベトナム語語彙・表現が複数ある場合は、.../...と併記し、どの語彙・表現を使ってもよい、ということを示す。

2. 例文

(1) これは私の本ではない。【名詞述語文／コピュラ文の否定】

Đây không phải là quyển sách của tôi.
これ 複合NEG³ COP CLF 本 POSS 1SG

名詞述語文の否定には、必ず không phải という複合否定語が用いられる。không phải は名詞述語の義務的な否定語という役割を果たしていると言える。また、「～ではない」の意味用法のほか、không phải は(13)の「～わけではない」のように文の一部を否定する否定語としても使用可能である。

(2) この部屋には椅子がない。【存在文の否定】

Trong phòng này không có ghế.
中 部屋 この NEG ある 椅子

¹ 本稿の統一性を考え、グロスは筆者が付与し直す。

² アンケートへの回答は、Lê Đại Thành (ダナン国立大学外国語大学日本語学科元学部生、日本在住歴5年、北部出身)、ベトナム語における表現上の助言は Bùi Duy Dương (東京外国語大学特定外国語教員) と Lê Thị Mỹ Hạnh (ダナン国立大学外国語大学日本語学科元日本語講師)、本稿の日本語の校閲は野村純太 (東京外国語大学言語文化学部ベトナム語専攻4年生) に依頼した。ここに感謝の意を申し上げる。

³ 複合否定語 (Nguyễn Đức Dân 1987, Nguyễn Anh Quế 1988)

(3) この部屋には一つも椅子がない. 【全部否定・モノ】

a. Trong phòng này không có lấy một cái ghế.
中 部屋 この NEG ある PTCL.MOD 1 CLF 椅子

b. Trong phòng này một cái ghế cũng không có.
中 部屋 この 1 CLF 椅子 も NEG ある

(4) その部屋には誰もいない. 【全部否定・ヒト】

a. Trong phòng đó không có ai cả.
中 部屋 その NEG ある 誰 PTCL.MOD

b. Không có ai trong phòng đó cả.
NEG ある 誰 中 部屋 その PTCL.MOD

(5) その本はこの部屋にない. 【所在文の否定】

Quyển sách đó không có trong phòng này.
CLF 本 その NEG ある 中 部屋 この

否定の存在文 (2) と所在文 (5) には, không có 「～ない／～いない」という否定形式が使われる. その一方, 全部否定の (3) と (4) では, không có はさらにモダリティ小辞と共起し, không có lấy một ... 「一つも～がない」 (3a), không có ai cả 「誰もいない」 (4a), không có ai ở...cả 「誰も～にいない」 (4b) のような表現となっている.

(6) この犬は大きくない. 【形容詞文の否定】

Con chó này không to.
CLF 犬 この NEG 大きい

(7) この犬はあまり大きくない. 【形容詞文の部分否定】

Con chó này không to lắm.
CLF 犬 この NEG 大きい あまり

形容詞の直前に không という否定語を置いて否定文が成立する. 部分否定の (7) の場合, 「あまり～ない」と対応するベトナム語の không ... lắm という形式が用いられる.

(8) この犬はあの犬より大きい. 【比較級】

Con chó này to hơn con chó kia.
CLF 犬 この 大きい より CLF 犬 あの

(9) この犬がその犬たちの中で一番大きい. 【最上級】

a. Con chó này to nhất trong số những con chó đó.
CLF 犬 この 大きい 一番 中 数 PL CLF 犬 あの

b. Trong số những con chó đó, con chó này là to nhất.
 中 数 PL CLF 犬 あの CLF 犬 この COP 大きい 一番

比較の際は、程度副詞が修飾する形容詞に後置され、「形容詞+程度副詞」という形式で用いられる。「～の中で」はベトナム語で副詞句となり、文末または文頭に置くことが可能であり、(9a)と(9b)には表現上特に相違がないと思われる。

(10) 今日はあの人はいかない。【自動詞文の否定】

Hôm nay người đó không đến.
 今日 人 その NEG 来る

(11) あの人はその本を持って行かなかった。【他動詞文の否定】

Người kia không mang theo quyển sách đó.
 人 あの NEG 持っていく CLF 本 その

(10)と(11)のような通常動詞文を否定するには、動詞の直前に không の否定語を挿入する。

(12) 全ての学生が参加しなかった。/学生は全員参加しなかった。【数量の全部否定】

Tất cả học sinh đều không tham gia.
 すべて 学生 一様 NEG 参加する

「一様」を意味する副詞 đều を không に前置することになる。

(13) 全ての学生が参加したわけではない。【数量の部分否定】

Không phải tất cả học sinh đều đã tham gia.
 複合 NEG すべて 学生 一様 ANT 参加する

数量を表す tất cả「全て」の前に không phải「～ではない」が用いられる。主語に位置する tất cả học sinh は名詞句であるため、không ではなく không phải の複合否定語が適用されている。

(14) (私は買わなかった。しかし、決して)値段が高いというわけではない。【文の否定】

Tôi đã không mua. Tuy nhiên, không hẳn là do đắt đâu.
 1SG ANT NEG 買う しかし 複合 NEG COP だから 高い PTCL

(14') Không phải (là) tôi muốn gặp anh ấy đâu.

複合 NEG COP 1SG ~たい 会う 3SG.M PTCL
 「彼に会いたいわけではない。」

文全体を否定する(14)(14')では、không hẳn/không phải という複合否定語が用いられ、文頭に置かれている。その次に Copula là が来るが、省略可能である。「そうではない」を意味する không phải と比べて、không hẳn は否定意が弱く、「必ずしもそうではない」というニュアンスを持っている。

(15) 走るな！【禁止】

a. *Đừng chạy!*

NEG 走る

b. *Đừng có chạy!*

NEG ある 走る

c. *Không được chạy!*

NEG できる 走る

(16) 大きな声を出すな！【他動詞文の禁止】

a. *Đừng nói to!*

NEG 話す 大きい

b. *Không được nói to!*

NEG できる 話す 大きい

禁止命令形を表現するために、*đừng*、*đừng có*、*không được* を動詞の前に置く。否定意の強さは *đừng có* > *đừng* > *không được* という順で表される。

(17) 明日は雨は降らないだろう。【推量の否定】

a. *Ngày mai có lẽ trời không mưa.*

明日 INFER 天 NEG 雨が降る

b. *Có lẽ ngày mai trời không mưa.*

INFER 明日 天 NEG 雨が降る

推量の文においても、動詞 *mưa* 「雨が降る」の前に否定語 *không* が来る。

(18) あの人の聞こえないように、小さな声で話してくれ。【目的節の否定】

a. *Hãy nói nhỏ thôi⁴ đừng để người đó nghe thấy.*

IMP 話す 小さい PTCL [軽い命令] NEG ように 人 あの 聞こえる

b. *Hãy nói nhỏ thôi để người đó đừng nghe thấy.*

IMP 話す 小さい PTCL [軽い命令] ように 人 あの NEG 聞こえる

để 節の前に否定語 *đừng* が来る (18a)。また、(18b) のように、*để* 節内の動詞 *nghe thấy* 「聞こえる」の直前に *đừng* を置くという表現もできる。

⁴ 軽い命令形を表す語気詞でもある (Nguyễn Anh Quế 1988)

(19) 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない。【否定のスキープの調節】

a. Không phải [tôi nói thế vì muốn làm bạn giận đâu].
複合 NEG 1SG 言う そのように ~から ~たい させる あなた 怒る PTCL

b. Tôi nói thế không phải [vì muốn làm bạn giận đâu].
1SG 言う そのように 複合 NEG ~から ~たい させる あなた 怒る PTCL

(19a) では、否定語 không phải 「～ではない」が文頭に来るため、「あなたを怒らせようと思ってそう言った」が否定の作用域となっているが、日本語と同様に、否定の焦点は理由節「あなたを怒らせようと思って」のみであり、「言った」という動作自体は否定されていない。(19b)のように、理由節の直前に否定語 không phải を置くと、理由節のみが否定の対照となり、「私がそう言ったのはあなたを怒らせようと思ったからではない」という意味になる。

(20) 私が昨日買った本はどこ（にある）？【内の関係の連体修飾節・目的語】

[Quyển sách (mà) ngày hôm qua tôi mua] ở đâu rồi?
CLF 本 REL CLF 昨日 1SG 買う 在る どこ PTCL

(21) その本を持って来た人は誰（か）？【内の関係の連体修飾節・主語】

[Người (mà) đem quyển sách đó đến] là ai vậy?
人 REL 持つ CLF 本 その 来る COP 誰 Q

内の関係の連体修飾節では、目的語(20)と主語(21)が関係化された場合、関係詞 mà がそれぞれ目的語 quyển sách 「本」と主語 người 「人」に後続し、mà の後に関係節が来る。ただし、日常会話では mà が省略されるケースが多い。

(22) この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。【内の関係の連体修飾節・場所】

Phòng này là [phòng mà chúng tôi làm việc].
部屋 この COP 部屋 REL IPL する 仕事

(23) 足が一本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。【内の関係の連体修飾節・所有者】

[Cái ghế mà bị gãy một chân kia] tôi đã vứt đi rồi.
CLF 椅子 REL PASS 折れる 1 足 あの 1SG ANT 捨てる PTCL EMPH PRF

また、場所(22)と所有者(23)が関係化された場合、関係詞 mà がそれぞれ場所 căn phòng 「部屋」と所有者 cái ghế 「椅子」の後に現れ、mà の後に関係節が来る。これらの例文の mà の使用も随意的であるが、目的語(20)と主語(21)と比べて、mà を用いると修飾関係がより明示的になる。すなわち、関係詞の必要度が高いケースである。

(24) ドアを叩いている音が聞こえる。【外の関係の連体修飾節】

Tôi nghe thấy [tiếng gõ cửa].
1SG 聞こえる 音 叩く ドア

- (25) あの人が結婚したという噂は本当（か）？【外の関係の連体修飾節】

[Tin đồn người đó đã kết hôn] là thật sao?
 噂 人 あの ANT 結婚 COP 本当 Q

外の関係の連体修飾節では、関係詞 mà なしで名詞と関係節が直接結び付き、関係節が名詞に後続する。

- (26) 私はその人が来た時にご飯を食べていた。【時間節】

Lúc (mà) người đó đến thì tôi đang ăn cơm.
 時 REL 人 その 来る CON 1SG PROG 食べる ご飯

- (27) 私はその人が待っている所に行った。【場所節】

Tôi đã đi đến chỗ (mà) người đó đợi.
 1SG ANT 行く 到る 所 REL 人 その 待つ

時間を表す名詞 lúc「時」や場所を表す名詞 chỗ「所」が関係節の主名詞になるような(26)と(27)では、関係詞 mà が使えるが、強調しない場合以外は頻繁に省略される。

- (28) 私はその人が走っていったのを見た。【補文節・視覚】

Tôi đã nhìn thấy người đó chạy.
 1SG ANT 見る+知覚する 人 その 走る

- (29) 昨日の夜、私は彼らがしゃべっているのを聞いた。【補文節・聴覚】

Tối hôm qua, tôi đã nghe thấy bọn họ nói chuyện.
 夜 昨日 1SG ANT 聞く+知覚する 彼ら しゃべる

- (30) 私はその人が昨日ここに来たことを知っている。【補文節・知識】

Tôi biết là/rằng người đó đã đến đây vào ngày hôm qua.
 1SG 知る と 人 その ANT 来る ここ に CLF 昨日

補文節は視覚や聴覚の動詞の後に直接置かれ、その動詞を修飾する。ただし、(30)のように補文節をマークするために、複文の動詞と補文節を繋げる機能を持つ là (話し言葉) または rằng (書き言葉) が出現する。また、補文節に現れている進行中のアスペクトはベトナム語においてはそれに対応するアスペクトマーカ―が出現しない。

- (31) (昨日) 彼は彼が今日ここに来たと言った。 / (昨日) 彼は、「私は今日ここに来た」と言った。

【補文節・直接発話／間接話法】

a. (hôm qua) Anh ấy đã nói là/rằng anh ấy đã đến đây hôm qua.
 昨日 3SG.M ANT 言う と 3SG.M ANT 来る ここ 昨日

a'. Hôm qua, anh ấy (đã) nói là/rằng anh ấy đã đến đây.
 昨日 3SG.M ANT 言う と 3SG.M ANT 来る ここ

b. (hôm qua) Anh ấy đã nói :“Tôi đã đến đây vào ngày hôm nay”.
 昨日 3SG.M ANT 言う 1SG ANT 来る ここ に CLF 今日

b'. Hôm qua, anh ấy (đã) nói :“Tôi đã đến đây vào ngày hôm nay”.
 昨日 3SG.M ANT 言う 1SG ANT 来る ここ に CLF 今日

日本語文の意味が不明瞭ではあるが、主文における「彼は～と言った」の「彼」と、従属節内における「彼が今日ここに来た」の「彼」は同一人物であるとしている。また、彼が来たのが「昨日」であり、そのことを聞き手に伝えるのも同日「昨日」であるという解釈に従って訳出した。

直接話法 (31b) を間接話法 (31a) にする際に、主動詞の後に接続詞として機能する *là* または *rằng* を用いる。また、直接話法における一人称を三人称に置き換える必要がある。ただし、(31a) (31b) の文頭に (hôm qua) 「昨日」という補足説明をしない場合、話し手が発話したのは今日であると読み取れる可能性がある。従って、話し手が昨日発話したということを明示するため、(31a') (31b') のように補足説明ではなく、*Hôm qua* 「昨日」を文頭に置くのも一つの手段である。(31b') には、それ以外の変更がないが、(31a') には、*hôm qua* が文頭と文末に二重現れるため、文末の *hôm qua* が省略される。

(32) 私はリンゴが (あの) 皿の上にあったのを食べた。【内在節・従主・主主】

Tôi đã ăn [quả táo (mà có) ở trên cái đĩa kia].
 1SG ANT 食べる CLF リンゴ REL ある に 上 CLF 皿 あの
 「私はあの皿の上にあるリンゴを食べた。」

(32) は「私はあの皿の上にあるリンゴを食べた。」に相当する。「リンゴが (あの) 皿の上にあったの」のような表現がないからである。関係詞 *mà* と関係詞の後に来る動詞 *có* 「ある」は省略可能であるため、「あの皿の上にあったの」は前置詞句 *ở trên cái đĩa kia* 「あの皿の上に」となり、目的語である *quả táo* 「リンゴ」に直接に後置される。

(33) 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた。【内在節・従主・主目】

a. Tôi bắt được [con mèo (mà đã) chạy vào nhà tôi].
 1SG 捕まえる できる CLF ネコ REL ANT 走る 入る 家 1SG
 「私は家に入ってきた猫を捕まえた。」

b. [Tôi bắt được một con mèo] [khi nó chạy vào nhà tôi].
 1SG 捕まえる できる 1 CLF ネコ ~時 3SG 走る 入る 家 1SG
 「一匹の猫が入ってきた時に私はそれを捕まえた。」

(32) と同様に「ネコが家に入ってきたの」のような表現がない。(33a) では、「ネコが家に入ってきたの」が動詞句 *chạy vào nhà tôi* 「私の家に入ってきた」となり、目的語である *con mèo* 「ネコ」に後置される。関係詞 *mà* と過去完了 *đã* を省略することも可能である。また、「家に入ってきたの」が文修飾副詞節 *khi nó chạy vào nhà tôi* 「私の家に入ってきた時」となり、主節 *Tôi bắt được con mèo* 「私はネコを捕まえた」の後に来るという (33b) のような表現もあり得る。表現上、ベトナム語では「走って入った」に相当する *chạy vào* のほうが自然である。

略語一覧

ANT: anterior 完了, CAUS: causative 使役, CLF: classifier 類別詞, COMP: comparative 比較, COP: copula コピュラ, EMPH: emphatic 強調, 1: first person 一人称, IMP: imperative 命令, INFER: inferential 推量, M: male 男性, MOD: modality, NEG: negation 否定, PTCL: particle 小辞, PASS: passive 受身, PRF: perfect パーフェクト, PL: plural 複数, POSS: possessive 所有, PROG: progressive 進行, Q: question marker 疑問マーカー, REL: relative 関係詞, SG: singular 単数, 3: third person 3人称, TOP: topic 主題.

参考文献

- Nguyễn Anh Quế.1988. *Hư từ trong tiếng Việt*. NXBKHXH. Hà Nội.
Nguyễn Đức Dân.1987. *Logich ngữ pháp cú pháp*. NXBĐH và THCN. Hà Nội.
Trần Trọng Kim.1952. *Việt Nam văn phạm*. NXBGD. Sài Gòn.
Nguyen Thi Hong Hanh.2016. 『ベトナム語の名詞修飾表現』.博士論文.名古屋大学.

執筆者連絡先 : pttthao@ufl.udn.vn

原稿受理 : 2020年3月2日